

様式第2号（6関係）

第3回公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	第3回公民館運営審議会
2	日 時	平成21年 3月 25日 午前・後 9時 30分から午前・後 11時 30分まで
3	会 場	安曇野市明科総合支所2F大会議
4	出席者	渋谷委員、内田委員、下里委員、神谷委員、大倉委員、平倉委員、吉田委員、長嶺委員、須山委員、曾根原委員、勝野委員、宮島委員、遠藤委員
5	市側出席者	望月教育長、加藤中央公民館長、丸山豊科公民館長、曾根原三郷公民館長、内田堀金公民館長、浅見明科公民館長、山田公民館主事、白澤公民館主事、高嶋公民館主事、猿田公民館主事、竹田公民館主事、松枝課長、宮澤係長、青柳主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人 0 人	記者 0 人
協 議 事 項 等		
1	開会	
2	あいさつ	
3	協議事項	
	1) 生涯学習推進計画について	
	2) 平成20年度公民館事業報告について	
	3) 平成21年度安曇野市公民館活動指針について	
	4) 平成21年度公民館事業計画について	
	5) 平成21年度公民館運営審議会の取り組みについて	
	6) その他	
4	閉会	
	1) 生涯学習推進計画について	内容、経過説明
	2) 平成20年度公民館事業報告について	中央公民館、穂高公民館、豊科公民館、三郷公民館、堀金公民館、明科公民館の順に事業報告
	3) 平成21年度安曇野市公民館活動指針について	中央公民館長より説明
	4) 平成21年度公民館事業計画について	中央公民館、穂高公民館、豊科公民館、三郷公民館、堀金公民館、明科公民館の順に事業計画の説明
	(委員)	
		今日の資料を見せてもらって、それぞれ公民館ご苦労されていることが伺われる。安曇野市の公民館ばかりでなく、感じていることであるが、公民館とは元々何かと考えると、できたときは地区住民の居間、たまり場という意味合いが強かった。しかし、時代とともに生涯学習が市民権を得て様々な学習が行われようになり、間違えると公民館が居間でなく、書斎になってしまっている。書斎、勉強部屋、研究室になってしまっている公民館を、居間に戻さなければいけないと感じている。泥臭い公民館活動も大事にしていかなければならないと思う。
	5) 平成21年度公民館運営審議会の取り組みについて	
	(会長)	
		公民館運営審議会については、合併前の町村のものと多少違ったところも出ている。正確に言うと館長の諮問に答え

て、審議していく委員会のように感じる。21年度の事業計画が発表された中で、22年度にかけて公運審のあり方は本来の姿になっていくと思う。その点まで含めて皆さんから意見をいただきたい。

(事務局)

館長方の館の指針はそれぞれの館の特徴を捉えて、地域づくりに邁進していただく事業計画を作っていたと感している。指針の中に安曇野市公民館運営審議会への協力依頼という項目がある。諮問について今、具体的なものはないが、公民館に対しての評価・指針を与えていただきたいという思いが館長にある。委員の皆さんに公民館活動に係る調査を行なっていただき、安曇野市に相応しい公民館活動としての提言をいただきたいと館長さん方は考えている。新年度が始まると各館の事業計画も具体的なものが出てくるので、その中で実際に参加し見ていただく機会を作ってください、評価をしていただき提言していただく。このような方向で新年度が進んでいただければありがたいと、教育委員会事務局としては考えている。

(委員)

全公民館で共通してやっているような事業があると思うが、その共通点についてのアンケートをもらって改善していくというような方法をとったらいいと思う。それから今大変な時を迎えており、事業が多くなればなるほど公民館活動重視より生活重視のほうに傾いてくるので、今のニーズにあったような活動を行なってもらいたい。

(委員)

安曇野市が合併したという具体的な形が、公民館活動に出てこないかなと思う。旧五町村単位で公民館活動をおこなっているような気がする。いい講座であるなら次回は他地域の公民館で実施するという取組みがあってもいいのではないかな。いいものは一緒にやるというように、少しずつ育てていくことを願う。

(館長)

三郷の公民館の指針の中で、他の団体と共同して事業を実施する以前に、他の公民館と合同で事業を実施したい旨、記している。昨年5館で統一して事業ができないかと模索した。公民館長として任命された時点で地域の特性を活かしてということを言われている。しかし、そればかりではいけないということで、今現在統一事業も考えている。それから、他地域の講座に参加できないというようなことは今現在はないと思う。三郷のパソコン講座、庭木の手入れ講座も他地域から参加をいただいている。他館の講座にも三郷から行っているの、広報紙等を見てそれぞれ住民が参加していると思う。

(委員)

明科公民館で活動している各クラブを取り上げて、講座にしていくという公民館サークル支援事業が始められるようだが、いい取り組みだと思う。また、堀金の体育祭でレクリエーションを実施しているということで参考にさせていただきたい。

(館長)

明科公民館で活動しているサークルに全部顔を出して声を聞いた。長年活動している団体は各自繋がりが強いが、先行きが不安であるということである。裾野を広げて活性化していかなければならないと感じて、サークル支援事業を取り上げた。また、編み物講座を実施したところ高齢者の参加もあり、地域から編み方を教えて欲しいという声も聞こえている。公民館の原点はそこに気よりよく集まって、そこで自分たちの生涯学習に取り組んでいくということだと思う。そんなことを大切にして繋がりを作って生きたいと思う。

(館長)

堀金で市民体育祭に変えたのは4年前位で、それまでは区長が主催していた。安曇野市になったときに区長会が止めるという結論を出したが、公民館が復活させた。それまでは区対抗の色合いが強かったが気軽に参加できるスポーツに変え、現在、区対抗に残っているのは年齢別リレーだけである。

(委員)

第1回の公民館大会で地区公民館長として事例発表を行なった。事業報告のような形になってしまったが、来賓も多か

ったように思うが、今年度は少なかったような気がした。これは事例発表が順番制で充実した発表ができないからではないか。話題性のあるような公民館をピックアップしてもらい、事例発表をやってもらえればもっと盛り上がるのではないか。

(委員)

地域の特色をいかし前向きにステップアップするような事業がいくつか見られる。色々な年代がかかわれ、単発事業が少ないというのがいいと思う。複数回行なうと内容的にも充実するし、参加者のつながりも強くなると思う。

(委員)

安曇野市が一つになるような事業が欲しい。全市的に盛り上がるようなことができないか。今のものは各地域ごとになってしまっている。それぞれの特色をだすのは大切だが、せめて一つ何か全市的に行い盛り上がるものが欲しい。

(会長)

色々今出た意見を参考にしてもらいたいと思うが、館長2年目となり益々力の見せ所となる。5人の館長連絡を密にして前進していただきたい。

(事務局)

新年度になったらまたこの会を開かせていただき、より具体的な計画を示して改めて貴重な意見をいただきたいと思う。また、活動も始まるのでこれと思う活動には是非委員の皆さんにもご参加いただき、ご意見を賜りたいと思う。

